

タウンミーティング記録 未来へ向けて 今、ここから

日 時 令和6年8月24日(土) 午前10時～11時40分

場 所 亀久保会館（亀久保北町会）

参加者 22人



主な意見等

参加者 亀久保3丁目の県道沿いについて、ゲリラ豪雨で冠水することがあります。8月11日に冠水しました。頻繁に道路が冠水することに不安を感じています。予算の関係もあるとは思いますが、排水の対策を取っていただきたいです。応急対策でも構わないのでお願いします。

市長 先日の夕立も雨量が非常に多く、時間雨量のピーク時は58ミリでした。整備されている排水管は約50ミリ程度を処理できる能力がありますが、おそらく全国的に同レベルだと思います。先日は新宿などでも100ミリ程度の大雨により溢れるようなことが起きています。台風などでは都市下水路そのものが増えてしまい、新河岸川も増水して溢れることがあります。これまで様々な対策を行っていきっていますが、先日のように短時間に58ミリという多くの雨が降るのは今までに経験がありませんでした。今後どのように対策がとれるのか検討を進めたいと思います。住んでいる方の生の声を聴くことがタウンミーティングの一番大事なところですので、貴重なご意見をありがとうございます。

参加者 車と自転車の交通安全についてお尋ねしたいと思います。運転免許を持たない若い人が増えています。運転免許を持っていないということは、教習所で交通ルールを教わる経験がないということです。自転

車に乗る人の中には、交通ルールを良く理解していないのではないかと思います。車を運転をしていると自転車は弱者ということで、自転車の無謀運転が気になりますし、飛び出してくる自転車もいます。運転免許を持たない人に交通教室の必要があると思いますが、どうお考えですか。

市長 その通りだと思います。若い人で運転免許を持たない人が増えています。今後も増える可能性があります。確かに運転免許を持たない方は運転免許を取るために教習所等で交通ルールを教えていただいたり、あるいは自分自身で学んだりする機会がありませんので、運転免許を持っている人より持っていないの方が、交通ルールや法規、あるいは、マナーの部分においても若干欠如しているのではないかと思います。のはご指摘のとおりだと思います。

市ではスケアードストレイト教育技法を使って、実際に校庭に車を走らせて、スタントマンを使って事故の危険性を教えています。学校教育の生活科などの中で、交通教室も考えていきたいと思っています。自転車事故が多い理由は、埼玉県は平野部が高く、自転車所有率が高いこともあります。自転車も車両なので、車と同様にルールをきちんと守らなければなりません。何か啓発活動できるように取組を進めたいと思っています。

参加者 市が求める自治組織の役割についてお話を伺いたいと思います。

市長 自治組織は名前のおり、「自ら」「治める」ものです。その地域をそこにいる人たちで暮らしを支え、暮らしやすいものを作り上げていく、地域で暮らしている人と人との助け合い、これがやはり自治だと思います。私たち市役所も地方自治体とって「自ら」「治める」と書きます。その中で法律や制度以外の部分で自らの地域を作っていくのが町会単位の地域の繋がりだと思っています。例えば、クリーン推進員や民生委員などを選ぶことに関しては、国で決められていることを市が皆さんにお伝えしているものです。

ごみの収集については市で収集を委託し、清掃センターを作って処分をしています。その費用はそれぞれの方からはいただくに、皆さんに納めていただいた税金で負担しています。色々なことを市が自治

組織をお願いしているというよりも、本来、住んでいる方たちでやるべきことを市役所がやっているという考え方が正しいのではないかと思います。自治組織は役員のなり手不足などの課題もあると思います。また、自治組織に入るメリットがないとおっしゃる方もいますが、子ども達の見守りなど自治組織の協力によって恩恵を受けている部分もあります。また、災害発生時も各地域に職員が行って活動するには、少し時間がかかることも想定されます。その際は自治組織の力が重要になります。

また、現代ではあまり使われませんが、村八分という言葉聞いたことがあるかと思いますが、仲間外れや断交するといった意味ですが、残りの二分は火事と葬式となっていて、たとえ関係が悪くてもその時は助け合おうという考え方です。それだけ地域の集まり、自治組織は昔から大切なものということです。

阪神淡路大震災や東日本大震災、新潟中越地震などの大規模災害時において、復旧復興が早い、初動対応が早い地域は自治組織の活動が活発な地域であると総務省の統計データも出ています。市からのお願いも多いですが、地域で必要であるものをお願いしているというものも多いです。市が求めるというよりは、自治組織からこうしたい、こうやろうと言う意見をもらって、市も協力していくという考え方です。

参加者 自治組織から考え方を発信していきたいと思いますが、なかなか難しいところです。この地域が住みやすいこともあり、大きな課題をみんなで乗り越えるという必要性がないこともあると感じています。ネット社会でもあり、自分で調べればある程度解決方法が見つかるので、隣の人に頼らなくてもよいこともあります。

この度、自治組織の加入促進でうちわやチラシを作りました。配布のために住宅地図を欲しいと市に相談したのですが、使用目的が限定されていてお渡しできないので、図書館を利用してコピーをしてほしいと言われました。また、コピー枚数に制限があるかもしれないと言われました。私たちもそれぞれ仕事をしながら自治組織の役員をしているので、市の協力をいただけないとやる気がなくなってしまう部分もあります。ぜひ、自治組織の取組を市から持続的に発信してほしいと思います。自治組織だけの力では不十分と考えています。

市長 市としても自治組織への加入啓発については、市報にチラシを入れるなどの取組をしています。自治組織加入のメリットという議論になりますが、この地域は人の手を借りなくても不便なく生活できる暮らしやすい地域だと思います。地震においてもふじみ野市は揺れが少ない地域です。国の施設である大井通信所があったり、過去に市役所周辺に火工廠という軍事工場があったりしたことがそれを示しています。

自治組織の加入率についてですが、水害が心配な地域などは助け合いが必要と感じていて加入率が高い傾向にあります。

また、公園は地域の皆さんに掃除をしていただくなど管理をいただいています。そのお陰で市から業者に委託して支払う費用を削減できています。

今、市が行っている政策はいろいろありますが、学校の体育館にエアコンを付けることにはものすごくお金がかかります。今は教室にエアコンがあるのも普通になりましたが、ふじみ野市は令和4年にはエアコンの設置が完了していました。エアコンを付ければ電気代がかかります。電気代がかかっても市民サービスを落とさずに行政は運営する必要があります。学校給食の無償化が話題になりますが、給食の材料費のみを負担していただいている状況です。もし無償化にすると年間5億円が必要になります。無償化した自治体では何かのサービスを縮小して財源を確保するなど苦労しているという話も聞いています。自宅にいても昼食は食べますので、材料費だけは負担をお願いしているところです。

また、他の自治組織のタウンミーティングでは、若い方が災害被災地のボランティアに参加したところ、自治組織で助け合って作業しているところを見て自治組織の必要性を感じたとおっしゃっていました。そのことから、市からも自治組織に入る必要性をもっと発信してほしいと言われました。

地域の繋がりというものが大事だと思います。貴重なご意見本当にありがとうございました。

参加者 公園についてです。地域の周辺には亀久保北、亀久保西、亀久保中央公園がありますがすべてで球技が禁止されています。学校まで行け

ばいいと言われても家から遠い子もいます。また、休日や放課後の校庭では野球の練習などで使えないこともあります。私が小さい頃はもっと身近な公園などでキャッチボールやサッカーなどの球技ができました。今の子どもはボール遊びができるところがないので、球技に興味を持つ子どもが少なくなっているのではないかと思います。一概に球技を禁止するのではなく、大きな公園ではできるように、ルール作りなどが必要ではないかと思います。

市長 市では「こどもの未来を育む条例」をつくりました。これは子どもたちの健全な成長、これを地域ぐるみで作り上げていこうという条例です。

私が小さい頃は様々な場所でボール遊びをしていました。市も取組を進めているところです。福岡中央公園という割と大きな公園がありますが、ワークショップを開いて近隣の町会長さんや子どもたちの代表が集まり、安全にボール遊びをするにはどうしたらいいかを話し合い、現在、エリアを定めてボール遊びを解禁しています。

市内の公園のボール遊びを禁止した経緯には、地域の声があります。また、ペットを連れて入ってはいけないというのも同様です。反対する人の理解を得られるよう、ペット愛好家がグループを作り掃除をするなどの活動をされている場所もあります。ボール遊びも地域の方との話し合いにより、できるようにすることも可能だと考えています。市がこうすると決めるのではなく、地域の声で変えていくことも可能だと考えています。ボールが飛び出すなどの課題についても様々考えていきたいと思っています。

参加者 支部社協でこの会館を使って、サロンを行っています。普段は自治組織の回覧板や会館内にチラシを置くなどして周知しています。さらに多くの方の目に触れるように、会館の外に掲示板の設置をお願いしたいです。

掲示板については宝くじの助成金を活用したいと考え、数年前から申請していますが、認められていません。また、この会館は神社の土地を借用しているので、掲示板を設置するにはいくつかのハードルがあります。自治組織の資金では難しいので検討していただきたいです。

市長 掲示板は雨にも耐えられるものが必要だと思います。皆さんが活動のお知らせをするには必要だと思いますので、どのようなもの、どのぐらいの規模のものであれば設置が可能なのかを調べてみたいと思います。

タウンミーティングに追加された意見

参加者 ステラ・ウェストの1階ギャラリースペースは学生が勉強する為かほとんど使われている状況である。ホール利用者が歓談しようとしても場所がない。

回答 当該施設は複合施設であることから様々な利用目的の方々が集まる施設でありますので、ギャラリースペース等のフリースペースについては、多くの皆様に気兼ねなくご利用をいただきたいと考えております。

これまで、学生が多く利用する夏休み期間や、ギャラリースペースが展示等で予約が入っている際には、代替として空いている諸室を開放し、学習スペース等にするなど運用をまいりましたが、今後につきましては、平日の夕方や休日など、学生が多く利用する時間帯についても、空いている諸室を開放するなど、極力ギャラリースペース等のフリースペースが他の利用者にご利用いただけるよう運用を検討してまいります。

参加者 大井総合体育館の管理者の利用団体に対する態度が良くない。他団体からも苦情を聞いている。

回答 総合体育館は、指定管理による施設の管理運営を行っておりますので、指定管理者に接遇について研修を実施する等、直ちに改善するように指導致しました。

利用者が御不快な思いをされることが無いように、安全・安心の施設管理運営に努めてまいります。